

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門分野Ⅱ	成人看護学概論	1	30	1年次	7月	橋口清美
授業概要 成人期は人生の中で一番長く、社会や家庭での役割や労働力の担い手として、最も役割が大きい。また身体的・精神的・社会的にも変化に富む時期であり加齢やストレスが健康に様々な影響を及ぼしている。成人に生じやすい健康問題の予防と回復に向けて、看護師として適切な援助を提供するための基本的な知識と解決方法を学ぶ。						
到達目標 1. 成人期にある対象とその特徴について理解できる。 2. 成人の生活が健康に及ぼす影響について理解できる。 3. 成人看護に必要な基礎理論を理解できる。 4. 成人各期にある対象の特徴と保健の動向を理解し成人看護の役割を理解できる。						
使用教材 系統看護学講座 成人看護学〔1〕 成人看護学総論；医学書院 テキスト 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論,学研 国民衛生の動向 参考文献等 厚生労働白書（日経印刷） その他適宜紹介する						
評価 筆記試験、課題提出や授業態度など総合的に評価する。						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
6時間・3回	1.成人であるということ（人のライフサイクルから考える） 2.ライフサイクルにおける成人期の特徴 1)生涯発達の特徴 発達課題に関する理論；エリクソン、ハビガースト、レビンソン 2)成人各期の身体的・精神的・社会的特徴 3)働いて生活を営むこと					講義 演習
8時間・4回	3.成人の生活からとらえる健康 1)成人の生活状況の特徴 2)成人の健康の状態の動向 3)成人の健康、健康バランス 4.健康バランスに影響を及ぼす要因 1)ライフスタイルと健康問題 2)ストレスと健康 3)ライフイベントと健康 5.成人に対する保健医療福祉対策					講義 演習
2時間・1回	6.成人の健康レベルに応じた看護 1)健康の経過 2)各健康の経過にある患者の治療と特徴					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門分野Ⅱ	成人看護学概論	1	30	1年次	7月	橋口清美
時間・回数	授業内容					方法
3時間・2回	7.生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 1)成人の健康行動のとらえ方 (1)アンドラゴジー (2)成人の学習の特徴 2)成人の健康行動を促進する看護アプローチ 8.健康問題を持つ成人と看護師の人間関係 9.人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 10.看護におけるマネジメント 11.看護実践における倫理的判断 12.チームアプローチ 13.意志決定支援 14.家族支援					講義 演習
2時間・1回	15.健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 1)健康の急激な破綻 2)急激な健康破綻をきたした人の看護 3)救急医療を必要とする人々					講義
4時間・2回	16.慢性的な健康状態の揺らぎと慢性病 1)慢性性と慢性病 2)セルフケア 17.慢性病との共存の過程を支える看護 1)セルフマネジメント (1)知識と技術：コンプライアンス・アドヒアランス (2)自己効力 (3)QOL 2)エンパワメント					講義
4時間・2回	18.変化する医療・生活環境に対応した看護 1)新たな治療法、先端医療と看護 (1)新たな治療法・医療処置の開発・普及 (2)新たな治療法・医療処置を受ける患者・家族の看護 2)退院支援の看護 3)がんと共生を促す看護					講義 演習
1時間・1回	筆記試験					
備考						